

意見交換②団体からいただいたテーマ

●会費の設定と集め方、運用について

- ・会費無し（4団体）
- ・保険代にあてるため1000円/年（3団体）※森林・山村多面的機能発揮対策事業利用
- ・会費あり（家賃、光熱費代）
- ・運用、備品購入のため1000円/年
- ・会費を徴収し、森林・山村多面的機能発揮対策事業の立替えに活用
- ・土地代、燃料費として4000円/年

●活動のペースについて

- ・月4回
- ・多いときは週2回程度
- ・月1回
- ・年10回程度
- ・年6回程度
- ・年2～3回
- ・年1～2回（チップーレンタルで竹、木をチップ化）

●一般の方々に森林ボランティア活動を知らせるために活動場所にのぼり（活動旗）や掲示板を作成し設置することが各団体でできるか

- ・のぼりがあれば可能
- ・可能
- ・やっている
- ・ラミネート加工したA3プリントを森林の入口に設置したことがある（SNS、Facebook）

●タケノコやスウェーデントーチの販売について

- ・これからしていきたいと思っている
- ・スウェーデントーチは人気だが、認知度がまだまだだと思う
- ・近くの物産所にタケノコを出している
- ・体験として販売、SNSでの販売、スウェーデントーチは試作したが販売はまだ
- ・竹炊飯など竹林での活動、キャンプの流行にあやかる
- ・タケノコ掘り体験、タケノコ販売実施中、スウェーデントーチは検討中
- ・竹チップを販売
- ・会員のみ

●若い人が森に興味を持ってくれる仕掛けについて

- ・園児、保護者参加の行事。貸切バスの負担がネックなので、森林づくり事業活用したい。
- ・キャンプなど
- ・森で親子で遊ぶ企画を作る
- ・イベントに参加者として呼ぶ
- ・竹コリントなど竹材で遊ぶ活動（移動式あそび場を始めている）
- ・カーボンニュートラルの点から木質、バイオマスの利用についての教育等
- ・教育旅行団体などに SDGs に関連したアプローチによる体験プログラム
- ・キャンプ、焼き芋

●子供たちの自然体験について行っていること

- ・腐葉土づくり、しいたけづくり、タケノコ掘り
- ・タケノコ掘り、「森で遊ぼう」イベント
- ・梅がなる時は子供たちが来るようになった
- ・薪割り体験、森林整備
- ・腐葉土づくり、竹で炊くご飯づくり、竹炭づくり
- ・長崎大学の先生を招いて観察会を行い、生きものマップ「昆虫観察」を作っている
- ・ネイチャーゲーム、松尾公則先生を呼んでの生き物講座、イラストレーター山本春菜さんに生き物マップを作ってもらった
- ・焚火体験、ネイチャーゲーム等
- ・昆虫採集、腐葉土づくり
- ・キャンプ、芋掘り、草木染め、チップー片の山積みにカブトムシ

●長崎を林業算出額九州 NO.1 にすることについて

- ・森林環境税の有効活用
- ・車で行けないところが多いので道をつくるといいのではないか
- ・植樹会（卒業記念）
- ・林道の整備、ドイツ式多機能林道の活用
- ・県産木材のプレカット工場を作る、ログハウス、DIY の部材、集成材（板）

●今どのような活動をすれば離島の森林環境を整備していけるか

目標と効果について

- ・森林環境税の有効活用
- ・地域の現状に根ざして森林整備をすすめたらいいのではないか
- ・船代が高く援助はないのか
- ・やはり人材育成が必要だと思う
- ・竹、木の利用方法（利用先があること）

●日頃の活動、竹林や森の生かし方について

楽しいこと、大変なこと

- ・自然環境の保護をすすめたい
- ・竹の伐採体験で竹林遊びの楽しさを広める
- ・煮炊きや自然遊び
- ・森林や自然に関して各々様々な知識を持っている一般の方が少しずつ加わってくださり、成果物ができつつある
- ・整備できれいになると楽しい
- ・タケノコ掘り、竹炊飯、竹林で過ごす
- ・子供たちのあそび場ができる
- ・仲間の親睦、絆が強くなっている
- ・楽しく活動している
- ・通常の仕事とは離れた関わりがあり、社会貢献としてもやりがいを見いだせる
- ・敷地内の整備は今後の活かし方を考え、商いとして活用していきたい
- ・雑草対策

●公有地の整備状況（現況）、竹材・木材の有効活用、資機材の安全使用・整備法

- ・竹炭利用
- ・ハイキングコース沿いの場所は利用者に好評、竹チップは有効活用できている

●各団体の取組みについて

- ・人工林の間伐（森いくぞう会）
- ・多くの省庁やボランティア支援センターの方々の助力を得ながら整備が進んだ場所を広く皆様にお知らせする手立てをぜひ考えて実行したい（奥雲仙の自然を守る）
- ・今までの取組みと成果を発表する場を持ち一般の方々にも見てもらいたい（奥雲仙の自然を守る）
- ・竹林整備、竹材での音楽会、創作活動、ネイチャーゲーム、移動式あそび場（長崎竹活 Labo）
- ・何かイベントがあった時に一緒に作業できるといい（環境保全教育研究所）
- ・遊歩道、登山整備活動など（上五島 山を守る ポップ隊）

●各団体の活動内容とボランティア人材の育成方法について

- ・若手の加入促進が進まない
- ・ボランティア人材の育成は今後の課題
- ・講習会等の実施
- ・これから検討したい
- ・企業ボランティアとして社員への理解、興味を示してもらえるような活動に尽力する